WEEKLY REPORT

皆さんこんにちは。ガバナー補佐の鈴木悦朗です。

10月4日に森のホール小ホールで開催する「ロータリー情報研修会」はいよいよ間近になってまいりました。

昨年度まで3年間、日本全体のロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）であった井原實様（2770地区パストガバナー）を基調講演にお迎えし、各クラブの代表者2名にパネラーになっていただき、パネルディスカッションを行いたいと考えております。

ロータリーの奉仕の理念は変わらないのですが、クラブ運営に関しては、ご存知のように、時代にあわせて日々アップデートしています。

入りて学び、出でて奉仕せよ「Enter to learn ,Go forth to serve」

会員歴の浅いロータリアンだけでなく、ロータリー情報を学ぶことはロータリアンの責務として13ｸﾞﾙｰﾌﾟの皆さんが一同に集まっていただき開催したいと思います。

本年は松戸北ロータリークラブがホストクラブとなります。皆様スタイリッシュにおもてなしの心で運営にご協力をお願いいたします。

《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士

社会奉仕基金　3519円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

1・真実かどうか
2・みんなに公平か
3・好意と友情を深めるか
4・みんなのためになるかどうか

例会出席率　64.9%

第2407回　例会　2023年　9月20日（水）

■国際ロータリー会長　ゴードンR. マッキナリー
■第2790地区ガバナー　鵜沢　和広
■第13Gガバナー補佐　鈴木　悦郎
■松戸北ロータリークラブ会長　小澤　直之
■松戸北ロータリークラブ幹事　髙橋　一彦

■ 例 会 日 - 毎週水曜日12：30より（第1例会18：30）
■ 例 会 場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■ 事 務 所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13　ｻﾝﾗｲｽﾞﾊｲﾂ101
■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜第2407回　例会プログラム＞

司会　　大川高明会員

12:30	点鐘	小澤直之会長
	ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	
12:33	故豊島利治会員へ黙祷	
12:35	会食	
13:00	例会再開	
	会長挨拶･報告	小澤直之会長
	幹事報告	髙橋一彦幹事
1305	梨狩り感想	南貴子会員
		並木俊一会員
		鈴木悦朗会員
	小林会員、吉田会員米寿お祝い	小澤直之会長
	諸事お祝い	
13:25	【委員会報告】	
	出席親睦委員会　本日の出席率発表	小椋伸也会員
	社会奉仕委員会　本日の社会奉仕基金発表	大塚精一委員長
	ニコニコ委員会　　本日のニコニコ発表	小林弘会員
13:30	点鐘	小澤直之会長

＜会長挨拶＞　　小澤直之会長

さて9月もあっという間に半ばも過ぎて今週末はもう秋分の日を迎えようとしています。
時間が経過すると話題としても取り上げられなくなってしまいますが、9月1日は関東大震災から100年という日でした。この日本は100年間で色々な変化があったという事は承知の上なのですが、100年前の日本人はどのような食文化だったのか？と改めて気になって調べてみました。
その頃は元号でいうと大正時代となりまして、西洋料理が一気に大衆化したのがこの時代でした。西洋料理といっても三大洋食と言われていたのがカレー・コロッケ・とんかつとなります。
コロッケはクロケットと呼ばれて、今では考えづらいですが、とんかつやステーキより高価だったらしいです。
またとんかつといえば、現在でも営業を続けている、明治創業の銀座煉瓦亭で誕生したといわれて今でもポークカツレツのメニューで人気が衰えていません。
そしてカレーです。カレーは個人的には毎日食べてもいいくらいの好物なのでカレーの誕生には非常に興味を持ちました。
当時カレーは、輸入原材料を使用していたので、お値段も安くなく　なかなか庶民には浸透しづらかったとも言われています。一般宅で使用するカレー粉が発売されたのが、ちょうど今から100年前の1923年でして、「日賀志屋」という企業の創設者の山崎さんが日本で初めて国産カレー粉の製造に成功して、比較的庶民にも届きやすいお手頃価格に近付いてきたという時代になりました（この日賀志屋が後のエスビー食品となります）
ちょうどその頃にも家庭用のカレー粉販売をしていた稲田食品製造所という会社が「ホームカレー」という商品で販売していましたが、あまり売り上げも伸びない時期が続いたので、ついにその営業権と工場を浦上商店の浦上さんが譲り受けました。浦上商店とは香辛料やソースの原料を扱う会社だったので商売にとっては遠からず近からずでした。

WEEKLY REPORT

＜小林弘会員、吉田俊一会員への米寿お祝い＞　　小澤直之会長

＜ニコニコ委員会＞　　小林弘委員長

小林弘会員

米寿のお祝い誠にありがとうございました。

この年齢まで北ロータリー会員でいられたことを喜んでおります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

吉田俊一会員

米寿のお祝いありがとうございます。

最近めっきり年齢を感じています。

皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

野村充会員

お祝いありがとうございます。

渡辺敏弘会員

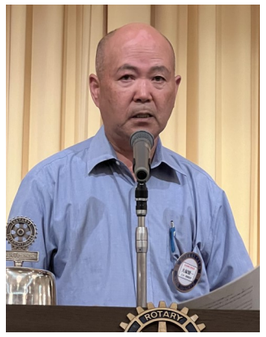
誕生日のお祝いありがとうございます。

このまま息災で、1年後の傘寿を元気で迎えられたらと願っています。

鈴木悦朗会員

去年も参加いたしましたが、私と一緒の子はとてもいい顔をしてくれました。皆さんも同じだと思いますが、何か記憶に残ることをしていただいたのではと思います。
小さい頃の大人に優しくしていただいたことは記憶に残りますので、ロータリーのおじさんおばさんが何か優しいことをしてくれた、ケンタッキーのおじさんもロータリーだけど、オレンジのシャツを着たロータリーの大人が地域社会の中にいるということが子供たちにとっていい経験だったのではと思います。
皆のために、地域のために、世界のためにというのがロータリーの考え方だと思いますので、これからもこのような活動を続け、奉仕活動を通しての公共イメージ向上が各クラブを支えていくというのが大切なことだと思います。
ありがとうございました。

＜社会奉仕委員会＞　　大塚精一委員長



皆さんこんにちは、
先週は早朝より、また、ご多忙の中「梨狩り体験」に参加を頂きありがとうございました。
実施場所は高塚新田の高代園でした。午前中の小金小学校の梨狩り体験は児童が15人、先生が6人、我々会員が29人、総勢50人の参加で実姉しました。迎えのバスの中では野澤副委員長が、梨が取れるまでの管理について、写真を使って説明し大変喜ばれたと聞いています。

午後の栗ヶ沢小学校の梨狩り体験は児童が19人、先生が8人、我々会員が24人、総勢51人の参加で実姉しました。
ある先生のお話しでは、子供たちは梨狩りのような体験はめったになく本当にありがたい事ですとしみじみと語っていました。子供たちのキラキラした嬉しそうな目をみると我々の心も癒され疲れも取れそうな気がしました。
昼食と例会は東部市民センターで行われました、「しの田」の仕出し弁当はおいしく満足のいくものでした。例会は事務局の足立さんにも参加を頂き会場の設営と弁当の管理をして頂きました。例会そのものは時間を持て余した感があり、次年度も同じ形態で実施する場合、工夫が必要かなと感じました。
梨のお土産については参加者全員（児童、先生、会員）にもぎ取りをして頂き一人1kgずつお持ち帰り頂きました。それから、急遽欠席した小金小1人と栗ヶ沢小3人の子供達にもお土産を差し上げました。これには先生方は大変感激され喜ばれました。その他には足立さんとバスのドライバーさんにもお渡ししました。
昨年と違うところは、①1校から2校に増やした事、②梨狩り体験の午前と午後の間に例会を設けた事、③梨のお土産を参加者全員にお持ち帰り頂いた事、④参加できなかった子供達の梨も用意した事などです。

梨狩り体験は昨年度から始まり今年で2年目です。松戸北ロータリークラブと言えばさつま芋堀が30年以上続いた伝統ある行事でしたが、いろいろな事情でできなくなりました。その代わりとして新しく試みた梨狩り体験、まだ2回目ですが多くの会員が参加し、なかよし学級の子供達と一緒に過ごした時間は、子供達にも我々会員にとっても「一期一会」の貴重で有意義な時間を共有することができました。子供たちの大切な思い出の一つとなってくれればと思います。
「継続は力なり」という言葉がありますが松戸北ロータリークラブの「梨狩り体験」が未来に永く繋がっていくことを祈念して社会奉仕委員長の挨拶とします。ありがとうございました。

WEEKLY REPORT

それでもまだカレーは一般に浸透していなくて販売不振にあえいでいたそうです。
その時、浦上さんの奥様が「日本にはホームという」概念がないから、一般向けのカレーを売るなら「ハウス」という名称に変えたほうがいいのではないかというアドバイスがありました。その後、「ハウスカレー」として名称変更してとろみをつけて販売したところ、爆発的に売れて、現在のハウスバーモンドカレーやハウスジャワカレーを生み出してどんどんシェアを拡大して現在の「ハウス食品工業」の沿革となったわけです。
先ほどの奥さんに名称を変えなさいと言われ、それを取り入れた浦上商店の浦上さんこそが現在のハウス食品工業の創業者であります。
この奥様の一言が日本におけるカレーの歴史を変えたといっても過言ではないかと思います。
すっかり話がカレーに逸れてしまいましたが、たった100年という年月は関東大震災から現在に至るまでに技術や街並み、そして常識に大きく変化を与えてきましたが、食文化だけはまだ100年前の名残りを残しつつも研究、改良をしながらも我々に喜びを与えてくれる事に感謝したいと思います。
だいぶ前になりますが、ヨーロッパの旅行サイトが「世界の伝統料理ベスト100」を発表しました。なんと「日本のカレー」は世界1位に選ばれたんです！
カレーといえばインドやネパールをイメージしますが、外国人からすると日本のカレーは絶品だそうです。
ということで私はこれからも、色々なカレーにチャレンジして楽しみたいと思います。

約100年前

1928

現在

＜梨狩り感想＞
南貴子会員

皆様こんにちは、
私は今回ボランティアというものに初めて参加させていただきました。
行く前は、子供たちを楽しませなければ、頑張らなければと思っていましたが、実際体験しますと受け取るものが、子供たちの喜ぶ姿、ホストである我々の一体感にとても感動し、このような機会を頂けましてとても良かったなと思いました。
これから年に何回かこのようなことができたらと思いまして、準備や企画など大変だとは思いますが、継続してできたらと思います。

並木幸雄会員

皆さんこんにちは。
会員の大勢の方の参加、非常に良かったかと思います。ユニフォームが素敵でして、栗ヶ沢小学校の校長先生には、こんなに大勢の方に迎えてもらってと大変喜んでおられました。
なかよし学級は全ての学校にはありませんで、市内には四十何校とある小学校の中で3、4校に一校のみあります。市の教育委員会もなかよし学校の取り扱いに気を揉んでおります中で、梨狩りなどでロータリークラブが関わることを大変喜んでおられるかと思います。
私も小金小学校、栗ヶ崎小学校とも送り迎えをしまして、出発式や反省会等、授業の一環として受けておられ、大変喜んでおられました。
梨の木の低さは大人は大変でしたが、子供たちはちょうどいいように思われます。
学校もこのようなことを望んでおりますので、長く続ければいいかと思っております。